

本年10月末の犯罪発生状況

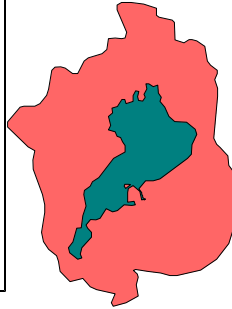


令和2年11月13日
(公社) 滋賀県防犯協会

刑法犯認知総数 5,071件 前年同期比-601件(-10.6%)

県内の多発犯罪(130件以上)

① 万引き	902件 (+133件)
② 自転車盗	861件 (-303件)
③ 器物損壊	540件 (-45件)
④ 詐欺	302件 (-5件)
⑤ 車上ねらい	228件 (-61件)
⑥ 置き引き	180件 (-90件)
⑦ 暴行	136件 (-14件)
※ 侵入窃盗	349件 (-90件)



前年比増加犯罪(増加件数順)

① 万引き	902件 (+133件)
② 偽造	25件 (+18件)
③ 脅迫	36件 (+13件)
④ 更衣室荒し	18件 (+8件)
オートバイ盗	76件 (+8件)
⑤ 横領	19件 (+7件)
自動車盗	58件 (+7件)
⑥ 公然わいせつ	27件 (+6件)
⑦ 放火	10件 (+5件)

犯罪率(人口1万人当たりの刑法犯認知件数)

全国平均「40.5」 滋賀県は「35.7」

全国平均より高いのは2市2町

- ① 豊郷町:74.7 ② 彦根市:44.6
③ 草津市:44.5 ④ 甲良町:40.6

犯罪増減率順位(前年対比・高)

- ① 日野町 38.5% ② 愛荘町 13.8%
③ 豊郷町 12.2% ④ 栗東市 3.0%
※ 他の市町は0%以下

気になる犯罪(現状と対策)

★ 万引きに歯止めをかけましょう

店の意識も上がり通報・検挙もされていますが、未だほとんどの市町で増加傾向がとまりません。「犯罪の街」にしないよう見かけたら店員や警察に通報しましょう。

★ 特殊詐欺の手口に注意

- ・ 1月～10月の発生は78件(前年比36件減)、被害総額は約1億4,390万円(前年比約1億3,255円減)。引き続き7割は高齢者(65歳以上)被害となっています。
- ・ 10月中の認知件数は3件で、キャッシュカードを狙う手口、サイトの架空料金詐欺、FX投資名目金融商品詐欺が発生しています。
- ・ 9月から大型量販店で「クレジットカードが不正利用されている」との犯行手口やアポ電が多発しています。

◆ だまし文句

・ キャッシュカードを狙う手口

○ 警察官を名乗る者:「大型量販店でクレジットカードが使われている。」

⇒ 銀行協会を名乗る者「悪用防止のため」としてキャッシュカードの暗証番号を聞き出す(自宅に来た犯人にカードを騙し取られる)

・ 架空料金請求詐欺

○ 携帯電話に実在する会社名を装い「利用料金の確認がされていない。」とのメールが届き、電話をかけると「90%返金される」と騙されATMで振込み。

・ 金融商品詐欺

○ 携帯電話に「FX投資でお金を増やしませんか。」と電話があり、1万円振込み後、儲け話により追加振込して被害に遭う。

・ お金を請求(支援・借用等)する電話があれば、すぐ警察に連絡してください!